

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート集計

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。(複数回答あり)

(11名) 平日が良い。

(1名) 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)

(2名) 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)

(2名) 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)

(3名) その他

- 県外から参加のため今回のように前日が日曜日であると参加しやすい。
- 雪の心配がない時期の開催が良い。
- 曜日はいつでも良い。
- 座学はzoomでも良さそう。
- 養生など、インストの人たちがしているのを見たい。

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

- ①講義1「医療機関の原子力災害対策」
  - ②講義2「医療機関での初期対応」
  - ③講義3「放射線障害の診断と治療」
  - ④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」
  - ⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」
  - ⑥講義6「放射線管理要員の役割」
  - ⑦講義7「原子力災害事例」
- 特別講義

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

- ①実習1「放射線測定器の取り扱い」
- ②実習6「傷病者の汚染検査」
- ③実習2「WBCによる計測」
- ④実習5「除染」
- ⑤机上演習

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

- ①実習4「医療設備の養生」
- ②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)
- ③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

提出されたアンケートをご参照下さい

提出されたアンケートから以下のとおり抜粋しました

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

- ・実習の際に外にいる方の話し声が少し気になりました。
- ・事務にも出来ることがあるということ、また出来ること以外のことを無理に頑張っているのではなく、多職種で協力、助け合いながら行うことが重要だと感じた。
- ・継続的に研修や訓練を行うことで、いざと言う時に動けるようにすることが大事だと感じた。
- ・難しい内容もたくさんあったが、新しい知識をたくさん吸収できた。
- ・運営側の福井大学の皆さんがとても受講しやすい雰囲気を作ってくれたので3日間とも楽しく受講できた。
- ・顔の見える関係ができ有意義であった。
- ・演習はチェックとプレイヤー（本部とホット、ウォーム）の2チームで実施でも良さそう。
- ・本部とプレイヤーの線引きが難しい。
- ・養生を初めて経験して概要や物品名など理解できた。
- ・実習7で事例を経験して各職種の役割を理解できた。
- ・普段、年1回の原子力災害訓練でしか養生、サーベイなどをしないので改めて詳しく知ることが出来て良かった。
- ・講義と実技の両方ができてすごく勉強になった。
- ・実技ではコミュニケーションの大事さが分かった。
- ・自施設でも生かせるようにしたい。
- ・研修期間が短いと感じた。実習をもっとできると良かった。
- ・放射線や医療対応の知識は勿論必要だが、災害関連の研修を受けるといつも人と人のコミュニケーションが一番大切、根底にあると思った。
- ・「ケンカしない」は平常時でも全スタッフが出来ると良いパフォーマンスが生まれるとしみじみ思った。
- ・実習も多く、体を動かしながら行う研修で楽しかった。
- ・最初は知識が無く不安であったが、研修を通して原子力災害に対する考え方が変わり、今後災害が起きた時は積極的に参加できるようにしたい。
- ・実習全体が楽しく学べた。
- ・クロックスやオペ着などの準備が助かった。
- ・実災害での話や測定器での実験もあり、楽しく学べた。
- ・実習ではチェッカー役もあり、プレイヤーをしてからの目線で自分がどうしたら良かったのか振り返ることもできた。
- ・小淵先生の人柄のおかげかスタッフ全体が明るく、とても良い雰囲気で研修を行うことができた。
- ・被ばく医療となると多くの人が奥手になってしまいがちなので、環境としてとても有難かった。
- ・講師の先生方が場を和ませていただいたおかげで緊張することなく楽しく学ぶことができた。
- ・初日は座学が続いたため、ややきつかった。
- ・飲み物やおやつなど色々配慮していただき、学びの多い有意義な3日間だった。
- ・今まで参加した研修の中で講義も分かり易く、実習や体験（WBC計測等）から更に原子力災害に対

して興味を持つことができた。

- ・ 今後研修を控えているメンバーにも福井を勧めたいと思う。
- ・ Ns、Rt、事務員、救命士の人など他職種とのグループワーク等も広い視野で考えられるようになった。
- ・ 脱衣で 90%除染できること、緊急時には頭を柔らかくして大きな視野で考えること、ケンカせずチームワークで乗り切ることが大切だということが残っています！！
- ・ 今までしっかりと学ぶことがなかったので、この研修を受けて、自施設で情報共有してスタッフみんなが新しい、同じ知識が持てるようにしていきたい。
- ・ 机上演習の回答例が欲しかった。（話を聞いてるとメモできなかったので）
- ・ 同県の他の施設の訓練を見学したいと思った。
- ・ 密度の濃い研修だった。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

単独で解決することが難しいので、多機関での連携が重要だと思えた。

②講義2「医療機関での初期対応」

自然災害と同様にCSCAが大事だと思えた。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

初期症状、前駆期の症状を見逃さないことが大事だと思えた。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

被ばくの線量評価は様々な方法を用いることが大事だと思えた。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

災害に対する心理的影響、特にPTSDは誰にでも起こり得ることだと理解することが重要だと思う。

### ⑥講義6「放射線管理要員の役割」

測定や、拡大防止措置等、安全管理を行う大切な役割  
があることを認識しました。

### ⑦講義7「原子力災害事例」

色々な被害が起るといふ、しっかりとした法整備が重要  
だと感じました。

### 特別講義

平時は常に準備を行い、本番ではできることを気負わずにあるという  
ことが大事だと再認識しました。

## 3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

### ①実習1「放射線測定器の取り扱い」

実際に測定器を使ったのは初めてでしたが、正しい機器で正しく  
測定するのは難しいと感じました。

### ②実習6「傷病者の汚染検査」

測定器の距離やスピードで結果が大きく違うので  
目視してしまふリスクもあるということが分かりました。

### ③実習2「WBCによる計測」

実際に計測してもらいましたが、思ったよりも  
簡単に計測できるのだなと思いました。あと修理費用を  
聞いてびっくりしました。

### ④実習5「除染」

事務なので普段やらない診療の部分なので、右のて  
いゝ勉強になりました。水を使う時には工夫が必要でした。

⑤机上演習

様々な想定での机上演習でしたが、DMATでも考えています。CSFAにのっとって考えていくことが重要であり、またより明確に考えやすくなると感じました。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

ストレッチャーや、機器類等の平面ではないものの養生が  
少し難しく感じました。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

今回、直接着ることはなかったのですが、着るのも脱ぐのも  
結構時間がかかると、患者がすぐ来そうといった場面だと  
あせってしまったり、一人ではなく協力してすることが大事だと思えました。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

今回は事務(ロジ)として参加しましたが、トレーと比べてはホットゾーンや  
ウォームゾーンではあまり役割として機能しないように感じたので、クロロ  
や、情報収集等に徹する方がよいと感じました。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

専門的な知識が何も無い状態での研修でしたが、事務にも  
できることがあるということ、またできること以外のことを無理にがんばって  
しようとするのではなく、多職種で協力、助け合いながら行うことが重要だと  
感じました。また継続的に研修や訓練を行うことで、いざという時に動  
けるようになることが大事だと感じました。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

平日が良い。

土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)

日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)

土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)

その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

原子力災害の総論について学ぶことができた。

②講義2「医療機関での初期対応」

被ばく医療の体系的アプローチについて、DMATで言われているCSCATTを活用していることを理解した。またCSCAが重要であることを認識した。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

被ばく線量により症状が違ってくることを理解し、潜伏期には無症状であることにはおどろいた。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

線量の推定方法については染色体の話は難しいが前駆症状の話は理解しやすかった。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

原子力災害にはステージという偏見があることを実感した。  
2011の時も同様で社会がもっと偏見を構えないようにしてほしいと感じた。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

放射線管理は作業者の安全などの観点から重要であると認識した。  
また放射線管理要員の役割は大きいと思った。

⑦講義7「原子力災害事例」

放射線の事故で最も有名なものが原子力施設ではなく産業施設であることにびっくりした。

特別講義

早く講義を聞いていたことで話の内容もしかりと  
入っていました。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

初めは測定器を取り扱ったのが難しかった。  
測定がなかなかうまくいかず、測定された値が正しいのか不安であった。

②実習6「傷病者の汚染検査」

除染できていると思っていてもサーベイヤーで確認するとできておらず  
除染の難しさを実感した。

③実習2「WBCによる計測」

初めてWBCで測定器のを見て勉強になった。

④実習5「除染」

汚染されているところを見つけたのが難しかった。

⑤机上演習

いろいろな方と話し合いながら考えることができた。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

養生する範囲や搬入した経路なども考慮して養生する  
ことの大切さを学んだ。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

防護装備をしていないと見るに開くことが困難なため、検定が  
厳格である。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

実際に対応するのは難しいことが実際にやってみて感じた。  
説明が良かった。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

難しい内容もたくさんありましたが新しい知識をたくさん  
吸収することができました。また運営側の福井大学のみならず  
がとて受講しやすい雰囲気をつくってくださったので3日間  
とても楽しく受講することができました。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

平日が良い。

土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)

日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)

土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)

その他

- 座学はzoomでも良い。  
- 養生など、イラストに作成しているのを見てみたい

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

概要を知、分かった。

②講義2「医療機関での初期対応」

具体的かつ、分かった内容を知。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

- 原因とARFの理解が分かった。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

内容が難しい。  
もう少しポイントを絞りたい。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

資料以外の内容、スライド共有。

非常に分かった。

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

管理-法的内容を知、難い内容だった。

⑦講義 7 「原子力災害事例」

事例を比較し分りやすかった。

特別講義

正しくなければいけません。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

GMサーバイソビ 実機で体験して良かった。

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

ポイントで検出するのは困難

③実習 2 「WBC による計測」

実際に経験して良かった

④実習 5 「除染」

創部の養生が難しく、水による汚染除去を防止が  
難しい

⑤机上演習

GWI他職種職員の交流が、良い。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

実際に養生する中で、ホットゾーン・ワイヤーを  
どれくらい確保するかポイントが、

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

二人一組で装着が楽だった。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

視野・周囲がPPEにより制限された。  
シールドコミュニケーションが重要だった。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

3日間準備が、片付けまで研修と気づかされた。  
研修内容も、顔の見える関係が、有意義だった。

演習は、40分と、アラヤ(樹とホットゾーン)の24分で実施できた。

特にアラヤの線引きが難しい。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

分かりやすかった

②講義2「医療機関での初期対応」

脱衣で90%除染できるとか良かった

③講義3「放射線障害の診断と治療」

核種ごとに治療に使用した薬剤が異なり

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

それ以外の概要が分かった

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

初めてこのような講義を聞き勉強になった

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

放射線技師がその役割を担うこと望ましい

⑦講義 7 「原子力災害事例」

JCO事故の詳細が分かった

東日本大震災<sup>CCC</sup>のときの経験談がよかったです

特別講義

正しく生きる

20代以上はそれと、子は注意しながら行く

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

1人スクリーニングするだけでも大変であるのに  
数百人行うことは大変な事だと思った

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

（つの中）に線源をかくしたら 以外に反応しなかった

（つの中）も測定するのは大変だった

③実習 2 「WBC による計測」

体外汚染がないことを確認してから行う必要がある

④実習 5 「除染」

⑤机上演習

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

床の養生は狭すぎると動きが制限されて  
なすぎて後の片付けが大変になる

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

線量計はかざかばーの袋が防護しやがた

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

技師 BG を測り忘れない  
ガーゼなど被ふくしたもののサーベイを忘れない

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

養生を初めて経験して概要  
物品名も理解できた  
実習での事例も経験して各職種への役割を理解できた

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

②講義2「医療機関での初期対応」

③講義3「放射線障害の診断と治療」

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

⑦講義 7 「原子力災害事例」

特別講義

実際の話が聞けて参考になりました。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

これまで漠然と使っていたものを細かく知ることでできよかった。

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

模擬線源でも付着が見つけられず、  
実際にどうなるのかも示された。

③実習 2 「WBC による計測」

④実習 5 「除染」

汚染が簡単に落ちるものではない、すぐ他の所に  
付着してしまふことが実際の体験で感じられた。

⑤机上演習

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

シトリカがそれぞれ異なり毎回新鮮で良かった。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

普段年回の原子力災害の訓練でしか養生、サバイバル  
をしないので改めて詳しく知ることで出来て良かった。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

解かりやすく、医療機関の原子力災害対策について復習することができた

②講義2「医療機関での初期対応」

CSCAの除染の方法や順番について知ることができた

③講義3「放射線障害の診断と治療」

ARSの前駆期の症状の大事さがわかった。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

生物学的なことや、放射線技師の専門的な知識が必要の内容で難しかった。  
ペースが早く、時間が短かく感じた。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

被災者だけでなく、支援者にもストレスがあることがわかった。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

法令の内容がわかりにくかった

⑦講義7「原子力災害事例」

災害事例に興味を湧いた。対策の難しさがわかった

特別講義

実体験を聞くことで、実際の現場はマニュアル通りにはいかないと思った。  
すこくおもしろい内容だった

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

実際に測定器に触れることで、使い方が良くなった。

距離と遮へいについてもよくわかった。

<sup>2</sup>  
②実習6/「傷病者の汚染検査」除染

傷病者の汚染された創傷部の除染が難しかった。

今日はブラックライトで汚染部がわかったが、実際は目で見えないので、こわいと思  
った。

③実習2「WBCによる計測」

核種によってピークが違うので、グラフを見ることで核種がわかることが理解できた。

WBCを初めて見せて、大まかになった。

④実習<sup>2</sup> ~~除染~~ 傷病者の汚染検査

汚染された場所がしつかりわかった。

計測時は反応が無いように思っていた場所が、答えを聞くとすこく反応

していた。自分の志査が裏切られたかな。

⑤机上演習

グループごとに討論して発表することで、すごく考えさせられた。

気がつくとも、すごくコミュニケーションがとれている。それぞれの分野の知識で  
良い討論ができた。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

養生はだいたいできたと思うが、ホットゾーンが養生する人によって変わった。

プレイヤーの動きを考え「ゾーニング」しなければいけないと思った。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

着脱は見ながらやるか! 現場で自分がやると何か変わる。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

自分の役割も十分はあかできていなかった。

特に測定するタイミング

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

講義と実技の両方ができて、すごく勉強になった

実技ではコミュニケーションの大事さがわかった。

自施設でも生かせるようにしたい。

3日間ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

必要性を学んだ

②講義2「医療機関での初期対応」

重要性を学んだ

③講義3「放射線障害の診断と治療」

再考させられた

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

内部被ばくについて学んだ

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

必要性を感じた

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

必要性を学びました

⑦講義 7 「原子力災害事例」

事例が聞けて学びました

特別講義

事例が聞けて学びました

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

測定数について復習を列挙しました

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

試してみることによって学びました

③実習 2 「WBC による計測」

初めて学ぶことができました

④実習 5 「除染」

~~実習~~

試してみることによって学ぶことができました

⑤机上演習

いろいろ意見が出て考えさせられました

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

2リヤ設定も充分と思っても  
実際は使用してみると狭いと思えた

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

手順が大事

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

状況に合わせて対応 = ~~この~~ ~~手順~~  
大事に考える

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

初めの原子力災害対応でした  
大変勉強になりました  
スタッフのおおききありがとうございました

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

被災医療は、1つの組織や機関では対応困難で  
関係機関との連携やネットワークの構築が大切であることを認識できた。

②講義2「医療機関での初期対応」

まずは被災者の生命に対する処置が優先されることを再認識できた。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

被災後48時間以内の赤斑症状(嘔吐・下痢・嘔気・発熱)を知らなくことで  
被災量を予測できると知った。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

染色体解析(逆位、相互転座等)については臨床でも経験がないため  
理解が深まった。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

災害被災者のメンタルヘルスも大切であるが、災害支援者のメンタルヘルスも必要であり、  
支援者のメンタルヘルスが正常に保たれていること、被災者支援できると感じた。

原子力災害は自然災害よりも差別+中傷が多く、今もつづいていることを知った。

医療者も含め、被災者以外の教育が大切であると認識できた。

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

スタッフの被ばく・健康管理を行っていることを知った。

放射線に用いるスペシャリストで、被ばく災害時には、医療者・市民への知識提供に重要な役割を果たす  
と思った。

⑦講義 7 「原子力災害事例」

事故は原子力発電所にも産業施設でも多く発生していることを知った。

特別講義

「自頭」

自分で考えてまわりのスタッフとの連携が大切であることを学んだ。  
楽しい講義だった。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

測定する時の時間と範囲を理解していること  
正しく測定できることを学んだ。

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

測定器の音を消し、不安を軽減あたえようとすることが  
重要であると学んだ。

③実習 2 「WBC による計測」

日頃からの美検が必要で、美検していること。  
災害時に使用できることを学んだ。

市民の方への説明には、正しい知識をもっておく必要があることを  
学んだ。

④実習 5 「除染」

セラソール時間をかけて実習をしてもらった。

⑤机上演習

他の研修をうけにきた方の意見・意見を参考にすることが  
できた。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

節が汚染しているための着脱方法が理解できた。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

ガイディングを看用すると胃が荒れやすくなり、胃もたれに  
なりやすくなる。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

研修期間が短いかなと感じた。  
実習をもっとできると良かった。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

特に日曜日はいつでもよい

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

医療機関の規模により、役割が違い、連携して災害に対応していくことがわかった。自分の所属する病院の立ち位置を考慮、想定することがわかった。

②講義2「医療機関での初期対応」

高度被曝していれば、患者対応は通常どおりとなるため、原発がある県の病院は、防護・除染ができるよう「仮設棟」が多くのスタッフが知識を身につける必要があると思った。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

身体所見のみでは、放射線障害を予測するのは不可能だと思った。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

計算が難しい。○ $\mu$ mの表記の計算ができるようになったと思った。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

災害時はなかなか、より早く、リ言を聞くことができない状況だと思ふ。自分自身もそこまで頭がまわらな、わからな、と思った。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

他職種が簡単にできる役割ではないとわかった。とても訓練して  
得難いスタッフが不足するのではと感じた。

⑦講義7「原子力災害事例」

私が知らない、近くの会社でも放射線関係関連の仕事をしている  
人がいるのではと思った。

特別講義

被曝量の累計とリスクを表現が適切で、  
「2kgの金矢アレイを1回で  
受けるか、2gの10円を1000回受けるか」が、とてもわかりやすく納得した。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

人をサーベイすることの難しさ、目に見えない状態で汚染部位を特定  
するのは本当にできるのか、訓練が何度も必要だと思った。

②実習6「傷病者の汚染検査」

以前一度、サーバイメーターの実習を受けたことがあったが、日頃触れてい  
ないと、使い方が分からなくなるため、衛生電話のように、定期的に  
触れる機会をもつ必要があると思った。

③実習2「WBCによる計測」

WBCを操作できる人材育成が難しそうだと感じた。

④実習5「除染」

目に見えないため、きれいに流い流せきと、たつもりでも、強固に残る  
のだと実感した。

汚染部位を触っていないと思っても、付着してしまうのだと実感できた。

⑤机上演習

職種により得意分野を引き出す、リーダー、雰囲気が必要だと思った。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

養生物品が所属施設にあるか確認しようと思った。コロナ対応が  
(しまもみのテープ、タイバックスーツの着脱)

活かせるなと思った。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

初めてタイバックスーツを着用して、同様のサポーターも着用、着脱時に知識がよい人ばかりうまく、できないと感じた。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

被ばくに関する知識を学ぶだけの実習だったため、自分の立場に感じている不安は無く対応できたが、知識の無いスタッフに交代しても、その者度大丈夫だということ伝えていくことが大切だと感じた。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

放射線や医療対応の知識はもちろん必要だが、災害関連の研修を受けるというも、人と人のコミュニケーションが一番大切、根底にあるなと思いました。「ケンカしない」... 平常時でも、全スタッフができてほしいパフォーマンスが生まれるのになーとしみじみ思いました。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。  
 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)  
 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)  
 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)  
 その他

日曜日は平日でも土日でも良いですが、  
重なりぬいた時期の開催が良いです。

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

基本的なことを学ぶことができた。  
分かりやすかった。

②講義2「医療機関での初期対応」

実際に災害時に自身に関わり可能性がふたば  
知強くなった。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

治療について初めて知ることが多かった。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

普段の業務と離れた内容で難しく感じた。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

原子力だけでなく様々な災害に共通して大切なことだと感じた。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

放射線管理要員の役割についてくわしく  
知りることができた。

⑦講義7「原子力災害事例」

実際の事故や災害について知ることができ、このような研修を  
受ける必要性をより感じることができた。

特別講義

とても興味深くおもしろい講義でした。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

実際に測定器を扱うことができ、理解が深まった。

②実習6「傷病者の汚染検査」

傷病者とのまわりやスポットに負を付けないと  
汚染を見つけることが難しいことがよくわかった。

③実習2「WBCによる計測」

実際のWBCを見ることができ、わかりやすかった。

④実習5「除染」

目に見えない汚染をしっかりと洗って除去することが  
除染のむずかしさを感じた。

⑤机上演習

グループで積極的に意見交換をすることができた。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

実際に活動してみると使いにくさや狭いと感じたので、活動するスペースは広めにしておく方がよいと感じた。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

初めてタイバインを着たので良い経験になった。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

シナリオによって実際にやってみると難しいと感じたが、学んだことを振り返る機会になった。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

実習も多く、体を動かしながら行う研修で楽しかったです。  
ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

「原子力災害においても「CSCA」が大枠であると感じた」  
- フロ-チャートに沿って行動するこの大枠を学んだ。

②講義2「医療機関での初期対応」

→ 2日目以降の学習に生かされた

③講義3「放射線障害の診断と治療」

被ばく量にたいした症状が出現の仕方が違うことを知識の向上に繋がった

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

普段は、線量評価をしないため、様々な評価方法を学べて新鮮だった  
計算は苦手であった

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

実災害の写真をエピソードを交えた講義で分かりやすかった

### ⑥講義6「放射線管理要員の役割」

放射線安全管理技術 → 放射線源、環境、人のそれぞれが分りやすく  
学ぶことができました。

### ⑦講義7「原子力災害事例」

放射線事故は毒薬施設での事故が原因がほとんどだ。  
原子力事故をみると、原子力の事故が「まきると大変である」と考えさせられた。

### 特別講義

平常時、災害時の切り替えが  
分かりやすい、よいもの

### 3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

#### ①実習1「放射線測定器の取り扱い」

普段扱うことのない放射線測定器を実際に触って、実験も行う  
測定器に慣れることができました。  
実験が楽しく学ぶことができました。

#### ②実習6「傷病者の汚染検査」

測定器の角度や当て方で測定値が変わってしまうことが  
実践に分かった。

#### ③実習2「WBCによる計測」

WBCによる計測原理が分かった。  
WBCを実際に測定したことでイメージがつかずからた。

#### ④実習5「除染」

実際に除染をしてみると、上と下の除染をそれぞれ行う  
丁寧な除染が必要であると感じた。  
拡大させないようにすることが大切。

⑤机上演習

それぞれの設問に対して、グループ内で話し合い、様々な意見が出て楽しく学べた。  
計算問題が難しい……

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

養生は、コロナ時でも行っていたため違和感なく実施できた。

養生範囲の難しさ(特にホットエリア)がなかった。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

普段、コロナ業務などで防護装着には慣れていたが、

改めて学べてよかった。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

様々な事例に対して、チームで協力して実施できた。

迷った点フローチャートが大助であった。

声が通りにくかった。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

最初は知識がなく、不安であったが、研修を通して

原子力災害に対する考え方が変わり、今後災害がおきた時は、積極的に参加できるようにしたい。

実習全体が楽しく学べた。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。  
 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)  
 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)  
 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)  
 その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

放射性物質による汚染のあり傷病者の治療に関与するための準備や金銭  
について学ぶことができた。

②講義2「医療機関での初期対応」

放射性物質に関与していることを意識し、廃棄物や村に居るスタッフへの注意  
事項の周知も必要だと思った。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

急性放射線症には潜伏期があり、症状がなくても注意が必要であり、PCから  
病歴の聞き取りなど情報収集が重要。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

傷病者だけでなく、関係するスタッフや家族などの精神面へのフォロー  
が出来るよう学ばせてほしい。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

⑦講義7「原子力災害事例」

原子力施設での放射線事故が"多い"と思っていたが、  
他の産業施設での事故の方が"多い"ことに驚いた。

特別講義

災害者の経験の一言が全て大変な下。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

測定器の値を言葉で"バ"難しかった。

距離や測定角度の違いで、測定値が"変わることが"分かった。

②実習6「傷病者の汚染検査」

測定の順番や測定器の操作が"不慣れで"不安が  
残った。検体にも"頼りが"少なくなったが、測定器を操作できると  
なりましたと"思った"。

③実習2「WBCによる計測」

実際に"体馬"食うことが"でき"た。

④実習5「除染」

放射性物質が"付着"していることに"注意"して  
除染できると"思った"。

⑤机上演習

グループで意見を出し合っていて楽しく学びました。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

実際の養生では、~~かかる~~時間を要するし、物品の準備や  
手順などのことも考えながら行う必要があった。他のチームのやり方を  
学び勉強になった。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

初めてタイバックスを着用して。サーバイを必要とする  
着脱手順をしっかりと覚えた。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

自分たちが養生した現場で傷病者対応し、改善点など  
にも気づけた。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

研修の期間中にあたって準備等ありがとうございました。  
クロックヤ オペ 着脱も準備はいい感じに助かりました。  
実災害での対応や測り定器での実演もあり、楽しく学び  
ることができて良かったです。

実習ではフェッカー役もあり、プレイヤーとしての役割で  
自分がどうしたらいいのかを振り返ることもできました。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

（県外からの研修であったので研修日の前日から  
休みである研修しやすい。(今回のように)）

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

②講義2「医療機関での初期対応」

③講義3「放射線障害の診断と治療」

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

⑦講義 7 「原子力災害事例」

特別講義

実際に緊急被ばく医療を行った先生の体験談を聞くことができて  
とても有意義でした。また、話し方の雰囲気も良く、どの職種でも関わ  
りかけたと思います。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

スライドの通り進めていれたが、少し流れが分かりにくい印象でした。

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

③実習 2 「WBC による計測」

④実習 5 「除染」

除染の実習で蛍光剤を使用したのは初めてでした。  
実際には見ることができず、実習としては分かり  
やすくすることができました。

⑤机上演習

会場全体が明るい空気でしたので落ちついて話しやすかったです、と思います。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

もう少しだけ時間に余裕があれば良かったと思います。

他のチームの養生で実習したのは良かったが、他のチームから見ての総評が良かったです。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

今回行ったことがある想定パターン以外(独歩, 除染もし)を行うことができて、良い経験になりました。

ストレッチャーのパターンとは違う注意点が帰ってから共有したいと思います。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

小淵先生の人柄のおかげで、スタッフ全員が明るく、とても良い雰囲気での研修も行うことができました。

被ばく医療とやらで、多くの方が奥手になってしまいがちなので、環境としてとてもありがたかったです。

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。  
 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)  
 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)  
 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)  
 その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

- ①講義1「医療機関の原子力災害対策」
- ②講義2「医療機関での初期対応」
- ③講義3「放射線障害の診断と治療」
- ④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」
- ⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

どの講義もわかりやすく  
理解することができた。

⑥講義 6 「放射線管理要員の役割」

理解できた

⑦講義 7 「原子力災害事例」

事例を聞いたことで原子力災害の怖さや身近に感じることができた

特別講義

音響効果もあり楽しく学ぶ事ができた

化学が身近な集中力が伝わってきた。最終は楽しく学べる事が良かった

途中、講師の語りかけが楽しく聞きやすい雰囲気だったので、特に良かったです

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習 1 「放射線測定器の取り扱い」

実際に測定器を使用することで取り扱いが理解することができた  
グループワークが面白かった。実習が良かった。

②実習 6 「傷病者の汚染検査」

短時間で自分の取り扱いや汚染検査のやりかたを  
学ぶことができた

③実習 2 「WBC による計測」

普通の測定器では正確な測定が難しいが、実際に  
測定器の仕組みが分かった。

④実習 5 「除染」

短時間で自分の役割や手順が分かった。実習が楽しかった。



令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

②講義2「医療機関での初期対応」

身体的な手順を考えた時に、生理学評価、全身検査、カペイ、除染、どの順で行っていくのがベストだと感じた。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

経時的な観察(検査)が必要なのだと思います。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

Sv、Gy、Bqの違い、使い分けが何段階でも難しい。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

講義自体とてもおもしろかったが、原子力に限った内容がもう少しあった。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

⑦講義7「原子力災害事例」

特別講義

DUMAT の活動に原子力災害が書かれていたが、実際は  
対応に遅れた隊が中心には残念に感じた。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

タスクのすまふが介かりにくかった。  
実際に測定することは楽しかった。

②実習6「傷病者の汚染検査」

実習1でも感じたが、スクリーニングの際に、合計の値が誤差が、ギリギリが  
難しかった。避難所等でスクリーニングで汚染をひきもくすかもしれないと  
②を考えると、不安になる。

③実習2「WBCによる計測」

$10^{-1}$  など、大抵、数字に付く単位と値をまちがえ。

④実習5「除染」

放射性物質が見ると、とたけ除染が染に付いたが考えさせた。  
1回除染にカーブするのには養生をはかす必要を感じた。1回1回の除染  
念入りにおこなった。④の

⑤机上演習

3hrが飛ぶが、メインファミリーのまかせで楽しくディスカッションできた。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

自病院の養生することばかりが、おたため、どこも養生  
するかと考えると、小気味悪く、根拠が乏しいことに自覚した。  
自院での。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

インコがうけなかつた。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

Nsの視点での動きはイメージできていたが、全体をみるリーダー的な  
立ち位置になった場合に、~~その程度~~動きがまとまらず、良い機会になった。  
講義等で事前に、フォーミュラの説明がよると、初療の流れがイメージ  
しやすいと感じた。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

実習の際に、外にいる方の声がかし気になりました。  
話し

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

ホットゾーンは知っていたが、ウォークゾーン-コールドゾーンは知らなかった。  
マニュアルを作成して、日頃から周知と訓練が重要である。

②講義2「医療機関での初期対応」

とにかく重傷者にはとくに、救命優先。除染は①創部②開口部③(通常)手足の順だと、わかりました。できれば、月を脱げれば90%除染できる。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

記録と証拠を残すこと、資料と一緒にしておくこと大切だと思いました。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

内部被ばくは、実際にできないため、現場の情報が重要である。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

自然災害とは違う「スリグマ」という痛みがメンタルを壊すという  
原子力災害と通常の差別というストレスがある。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

放射線管理要員は、放射線を取扱う施設や事業所に必ずいる。  
作業者のひばくを低減し、安全を不担保するため管理する人。

⑦講義7「原子力災害事例」

1審の10は産業施設。

特別講義

通常時と、災害時では、頭をゆるやかにして考えることが大切だとわかった。  
正しく学びたいために、日々の訓練 + ファンタスティックにやる。

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

計算がわからなかったのが良かった。(とてもおどかしが...)  
↑あまりがしゃべりにくくしていることわかった。

②実習6「傷病者の汚染検査」

サーベットの  
気をつけることの復習になった。

③実習2「WBCによる計測」

表面にひばくしていると内部がどうか測定できるのかが  
加減が除染をしてから測定することがポイント。

④実習5「除染」

とひばくしないよう除染するポイントを学んだ。

⑤机上演習

実際に事例にそって具体的に考えることができた。  
ただ「ちよと 3時間はもつた」。

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

なるべくなくした方が、実習に使いやあいと思った。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

復習できてよかったです

くもり止め ● よかったです 思う

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

ドクトに、被ばくの知識がなかった場合や、被ばくしている  
急患のパーンなど、想定外のこともあり おもしろかった。

正解は無い、とのことだったが、一応正しい対処を(い3人分)  
おしえてほいた、と思った。(やり方)

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

改めて、被ばく医療の対処を学びました。

NS, RT, 事務員, 救命士の人ほい他職種との  
グループワーク等も、広い視野で考えられる  
ようになったと思います。

脱衣が90%除染できること、緊急時には

互をわからなくて大きな視野で考えること、

~~グループワーク~~グループワークで乗り切ることが大切だということ

ご協力ありがとうございました。

のこっています!!

3

ありがとうございました。

令和5年度 第1回

原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

各部署の役割がどういったものか再確認できた。

②講義2「医療機関での初期対応」

災害の知識と対応医療の知識、報告の知識とを合わせて、  
「いつかいつか」のことで本格的に。正しく知識が「あつた」あつた感じがする。  
普段の仕事の中でよく知識を深めたいところと見えた。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

今回、何となくかわらぬ感じがして、放射線の方向や検査結果  
とそれに関する情報がわかることを知ることができた。症状や対処法を知らないと  
PCの検査やPC対処時に生かせることができると思えた。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

いろいろな数値と単位、計算が出来る(この頭が混乱していた)。  
これこそ正確に線量の評価とできる。PCの対応に、今後の対応に(女)もこの重要性はよくわかる。  
大切だ。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

災害や事故の時、~~は~~エえ精神的にケアが必要だと  
原子力災害はよく敏感にメンタルケアが必要だと感じることができた。  
そのための時期のことも思い出した。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

普段(肉)が子(子)が「ア」にのり  
認識して 何とていふのか 知らずがして「ア」にのり

⑦講義7「原子力災害事例」

ニュースで(南)の「ア」名前は「ア」にのり、詳細の内容が「ア」にのり  
理解して「ア」にのり、以「ア」にのり、復讐「ア」にのり

特別講義

最後で「ア」にのり「ア」にのり、自己「ア」にのり  
多数の「ア」にのり、福島が「ア」にのり「ア」にのり  
ニュース「ア」にのり「ア」にのり

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

- ・ 普段放射線計測「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり
- ・ 「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり

②実習6「傷病者の汚染検査」

- ・ 「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり
- ・ 「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり

③実習2「WBCによる計測」

- ・ 放射線計測に「ア」にのり「ア」にのり
- ・ 放射線計測に「ア」にのり「ア」にのり
- ・ 放射線計測に「ア」にのり「ア」にのり

④実習5「除染」

- ・ 除染に「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり
- ・ 除染に「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり
- ・ 除染に「ア」にのり「ア」にのり「ア」にのり

⑤机上演習

- 土下式は現場でどうするかというのを念頭に置いて
- 職務内容と連絡方法の知識が自分の方が分かるように
- 全社では1人の法律上の除染のしるいは多分の人々がやるべきで自分もやるべき

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

頭の中でイメージを

①実習4「医療設備の養生」

的確に養生をやる方法を知らなかった。  
 手洗いの箱にビニールを貼る、ゴミ箱の蓋を貼る。

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

脱ぐ時に気を付けて。  
 着脱の順序は着脱の順序、目に見えないものを  
 気を付ける。

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

汚染されている人がいたら、他の人の靴が汚れるという情報を伝える。  
 手洗いの箱にビニールを貼るの大切さを感じた。  
 作業時と同様に、手洗いの箱、手拭きの箱、ゴミ箱の蓋に  
 養生を貼る。集中作業が速いので、ゴミを箱に入れる。汚染された人が  
 来た。

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

- ・ 緊張していたが、スタッフの人から声をかけてくれたり緊張を和らげてくれた。
- ・ 知識のレベルが上がるのが嬉しい。
- ・ 今回ばかりと学ぶことが多かった。この研修を受けて、自施設でも  
 様々な情報共有をしてスタッフへ伝えたい。同じ知識が共有されている。
- ・ 机上研修の回答例が欲しかった。(特に南側と北側で違うところ)
- ・ 常に研修が受けたい。あんなに勉強したい。
- ・ 自施設の研修員が欲しい。同様の他の施設の研修員も見てみたい。  
 (自施設の研修員が欲しい)

ご協力ありがとうございました。

令和5年度 第1回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。

- 平日が良い。
- 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- その他

[ ]

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

①講義1「医療機関の原子力災害対策」

・同業にある原子力災害に対する対策を参考にしたい

②講義2「医療機関での初期対応」

・大変有意義な講義でした。

③講義3「放射線障害の診断と治療」

・大変有意義な講義でした。

④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」

・大変有意義な講義でした。

⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」

・実例を挙げて、原子力災害におけるメンタルヘルスの重要性がわかり、差別化が図れるように  
実例を挙げてから、被災者への対応がわかりました。

⑥講義6「放射線管理要員の役割」

・大変. 有意味な講義でした

⑦講義7「原子力災害事例」

・原子力以外の事故の方が事故の割合は多いと知り驚かされた

特別講義

・講義の内容もとても良かった. プレゼンテーションが素晴らしく素晴らしいです

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習1「放射線測定器の取り扱い」

普段. 使われていない物だったので. 使用方法や. 測定方法など. 知る事ができてよかったです

②実習6「傷病者の汚染検査」

・大変. 有意味な講義でした

③実習2「WBCによる計測」

・初めて見ることができて. 参考になりました

④実習5「除染」

・汚染をなくすのは大変だと知り. 除染の難しさを実感することができました

⑤机上演習

- ・ 持った所属や職種の方々の意見を知ることができ、よかったです

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

①実習4「医療設備の養生」

- ・ 人と人、持った考え方が、今回の多岐にわたりました

②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)

- ・ COVID-19のこのことを出発点として、今後の対応について学びました

③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

- ・ 院内での対応が知らなかったが、今回の研修で知ることができ、よかったです

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

- ・ 内容が濃い研修でした。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

第1回中核人材研修（福井大学） R5.12.18~20 振り返りのまとめ

	スタッフ振り返り・意見	アドバイザー・オブザーバーご意見	話し合った内容・改善点
講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場が狭かった。</li> <li>・受講生がオブザーバーの席に着席していた事もあり、机上札を設けるか案内を口頭だけでなく、座席まで行うなど検討をしても良いかもしれない。</li> </ul>	<p>【講義1】 経験に基づく内容も含まれ分かりやすかったです。</p> <p>【講義4】 スライドP15 眼の水晶体の線量評価 算定方法について3mm線量等量が追加されていますので、補足をお願いいたします。</p> <p>【講義5】 配布資料に御注意ください。使用するスライドは量研が作成したものであり、スライドを追加する場合は「追加スライド」等明記するなど、安全規制研究で作成されたものではない旨の明示をお願いいたします。配布資料については、特に御注意ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場については、2月は白扇会ホール（広い会場）で行うこととする。</li> <li>・オブザーバーと受講生のテーブル間隔をとり分かり易くする。</li> <li>・2月の「講義5」は標準テキストのみ使用する。</li> <li>・今後、標準テキストに追加する場合は、「追加スライド」等の明記や追加資料として別ファイルにする等工夫する。</li> </ul>
実習1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技師以外の受講生からは難しいという意見があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院でつかうX線が0.5mmの鉛で十分遮蔽できると説明されていた。散乱線についての事で誤解されてしまうと感じました。</li> <li>・スキヤニングスピードの違いによる針・数値の動きの違いは距離を一定にとること強調していた方がより分かりやすいと思われる。</li> <li>・スライドの測定器文字盤のイラストが見やすかったです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習内容的に仕方のない面もあり。各テーブルに協力員を配置しその協力員がフォローをしていく。</li> </ul>
実習2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WBCの車内が狭く、予定していた技師が入れなかった。</li> <li>・WBCの後の講義会場にサブ講師の技師がいなかった。WBCの車内に入れなくても、講義会場には参加するよう技師に声かけが必要だった。</li> <li>・WBCを返却前には忘れ物の確認を行う。</li> <li>・今回はクロックスを履いてもらい、ビタパシーツを床に敷いて対応したが、2月は雪もありどうするか検討が必要。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・WBC講義時にはサブ講師の技師が1名は会場にいるようにする。</li> <li>・2月もし雪が振った場合も、除雪してビタパシーツを敷いて対応をおこなっていく方向。</li> </ul>
実習3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の防護服の着脱のデモの後に、受講生には着装後すぐ実習7を行ってもらったが、時間がなくAグループは脱衣を行えなかった。</li> <li>・B・Cグループは実習7の時間を短めにして、脱衣の体験を行うことができた。</li> <li>・実習3と7を組み合わせず、実習3だけで防護服の着脱を確実に指導する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し時間が短った様に感じました。</li> <li>・デモンストレーションのみではなく、防護装備の着脱を実際に経験してもらうことも重要であると思われます。</li> <li>・実習7で防護装備の着脱に時間がかかっていたのはこの実習でデモのみだったことも原因ではないでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを行いながら、受講生も一緒に着脱を行っていく。時間は30分とする。</li> <li>・実習7ではホットで実習する受講生のみ更衣を行う。講師の人数を増やし、放射線技師を1名配置する。</li> <li>・フェイスシールドは外側配置とする。</li> </ul>
実習4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3グループとも、全体的にホットゾーンの養生が小さかった。</li> <li>・ストレッチャーにビニールシートを敷かず、ろ紙のみ敷いているグループがいた。間違いはないが、ビニールシートを敷いてからの方法を講師がアドバイスできるとよかった。</li> <li>・各グループの養生の意図の確認と振り返りを全体で行えると良いと感じた。</li> <li>・線量計に段ボールの蓋をつけたまま養生をしたり、作動確認をしていないまま養生した受講生がいたようだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義がなかったように記憶しています。3班がそれぞれのやり方で実施していたので最低限のやり方は教えた方がよいと感じました。</li> <li>・ホットゾーンとコールドゾーンのとり扱いが受講生にうまく伝わっていないように感じました。</li> <li>・各部屋の養生は適当であるが、その後の実習で異なるグループが養生した部屋を使用するのであれば、各部屋の養生のポイントなどを簡単に説明してもらおうとその後の実習で汚染と非汚染のエリア設定などが分かりやすくなると思われます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の養生したところがどうだったか振り返るため、養生する場所と実習7とを同じ場所にする。</li> <li>・各講師に養生が終わった後に、実習の振り返りを行ってもらう。</li> <li>・放射線技師を各ブースに1人は配置し、線量計の養生を行う時にアドバイスを行う。</li> </ul>
実習5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拭き取り除染と、人形の脱衣、水除染とたくさん盛り込んだため、50分では時間が短かった。</li> <li>・ベアになって拭き取り除染をするのではなく、人形で拭き取りも水除染もする、もしくは拭き取りは説明のみにすると時間に余裕ができると思う。</li> <li>・スタッフの人数が少ない為、講師の人数を増やして1グループ2名の講師を配置しても良いかもしれない。</li> <li>・電気係が必要（フラックライトを使うときに部屋の照明を消すなど）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講生全員が参加できており、雰囲気も良かったと思います。</li> <li>・実習内容としては時間が短いですが、前半の皮膚除染を無くせば時間内に終了できると思われます。</li> <li>・脱衣、除染による汚染の広がりを視覚的に確認してもらおうことが実習の目的でもあります。皮膚除染に時間をかけるより、脱衣、創傷部の除染に時間をかけ、除染後の汚染の飛び散り、汚染検査時には周辺のシートや吸水シートを取り除く必要性を理解してもらおう方が良いと思われます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が超過する為、拭き取り除染は説明のみとし、脱衣、創傷部の除染に時間をかけることとする。</li> <li>・1グループ2名の講師を3名に増やす。</li> <li>・電気係を決めておく。</li> </ul>
実習6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間表では講師の医師は3名だったが、1名だけだった。講師陣に時間表など資料は配布しているが、事前に講師に念押しが必要だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚染付着の可能性を想定したほうが良い。コードが人形に触れていても平気な感じで実習が進んでいた。</li> <li>・サーベイメータの測定数が誤っていたり、測定が速かったりと、ファシリテータの細かい指摘をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習6はメイン講師以外は放射線技師をサブ講師として十分な対応をする。</li> </ul>

	スタッフ振り返り・意見	アドバイザー・オブザーバーご意見	話し合った内容・改善点
実習7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つずつ事例を行ったため、受講生や講師、オブザーバーなど、全員が1つの部屋に集まったため、密度が高かった。</li> <li>・受講生がどのグループが分かりにくかった。次回は事例を並列に行き人員を分散させるか、受講生にピスを着けてもらうなどして役割を明確にしたい。</li> <li>・指揮命令のグループは結局1人か2人が指揮命令をしていて、他のメンバーはホワイトボードの前で固まっているイメージがあった。指揮命令のグループの中で誰が指揮命令者で、だれがコールドかを最初に決めておくよよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが養生していないエリアで医療処置をさせた。養生の広さ・程度の反省が出来ないと感じました。</li> <li>・全体的に時間が短かった様です。</li> <li>・準備に時間を取られていたので、もう少し講師が横について指導しながら準備、PPE装着をしても良いのではないのでしょうか。</li> <li>・3例目の想定は汚染があっても緊急性の高い病態であればそちらの処置、治療を優先するシナリオの方がわかりやすかったと思われま</li> <li>す。</li> <li>・1例目、2例目の汚染、非汚染 (HotとGold) のエリア設定が曖昧で非汚染の対応者が患者搬入経路を歩き回っていた。エリアの設定を明確にしておく必要があると思われま</li> <li>す。</li> <li>・フローチャートの通りに診療していく場合、4時間以内の嘔吐の確認方法の時にどこを起点にするのか、認識しておく必要があります。</li> <li>・受講者の多くが拠点病院からであり、WBCを保有している施設等も含まれるため、内部被ばくのチェックの鼻腔検査が陽性であった場合、その後のWBC、バイオアッセイの実施方法についても説明や確認することが必要だと思われま</li> <li>す。</li> <li>・さらにはARSの場合の染色体分析の試料採取のタイミングなど、被ばく医療独特の検査についてはこの研修で習得してもらう必要があるため、実習でも取り入れておくことが望ましいと思われま</li> <li>す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の養生したところがどうだったか振り返るため、養生する場所と実習7を同じ場所にする。</li> <li>・受講生の名前のところに職種を病院の名札のように棒線で色分けで入れていくか、台紙の色を変更する。</li> <li>・講師の役割も明確化していく。</li> <li>・講師用の虎の巻を小淵センター長が作成する。</li> <li>・2月の症例数は2事例としホットとコールドチームのみとする。</li> <li>・1事例目ホットを行った場合は2事例目はコールド対応にするように役割を変更する。</li> </ul>
机上演習		<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の野菜の設問、流通規制がかかっている食物、傾聴・同意しつつも今後は食べないように説明すると結んだ方がよい。受講者は安全なので食べてよいと納得している様子を受けました。</li> <li>・小淵先生のスムーズな進行でわかりやすかったです。</li> <li>・養生などの実習の前なので、受け入れ準備に必要な項目が十分に理解されていない受講者もいるのではないかと思います。</li> <li>なお、最後の設問9については、量研では外しています。</li> </ul>	
その他、研修全体を通しての感想		<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者に好きにやらせる指導方法のようでしたが、後から言葉で修正しても身体でやったことの方が記憶として残ると思っています。正しいやり方を身体で覚えさせた方がよいのではと感じています。</li> <li>・第1回の中核人材研修開催お疲れ様でした。全体的に受講生に満足いただけたのではないのでしょうか。振り返りを元に次回の研修につなげていただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。</li> <li>・これまでの被ばく医療研修の経験があることから、非常に充実した研修を提供されていたと思います。</li> <li>・今後は、高度被ばく医療支援センターとしてWBCが設置され、バイオアッセイや染色体分析なども自施設で提供できるようになるので、これらの線量評価についても支援する側として研修に取り入れていくことも今後の課題だと思われま</li> <li>す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目の研修は、その時その時で助言を入れてあげ、受講生の理解を深める。</li> <li>・他のセンターの研修でも、実習中にインストラクターの方に助言してもらった事が勉強になる。</li> <li>・実習が予定通りに進まず遅れると、終わりの時刻(交通機関)にも影響が出るため、次回からは福井駅と病院間の受講生の送迎車を検討する。</li> </ul>

令和5年度 第2回  
原子力災害医療研修「中核人材研修」受講者アンケート集計

今後更に充実した研修するためにアンケートにご協力をお願いします。

1. 今回の研修は平日の3日間でしたが、開催日についてご意見をお聞かせください。(複数回答あり)

- (11名) 平日が良い。1
- (1名) 土曜日を含めるのが良い。(木・金・土)
- (1名) 日曜日を含めるのが良い。(日・月・火)
- (0名) 土・日を含めるのが良い。(金・土・日 又は 土・日・月)
- (1名) その他 { 今回のように土日祝日につながる日程だと遠方から福井に来た方が、  
観光などに時間を使えるのではと思った。 }

2. 1日目の講義について感想をご記入下さい。

- ①講義1「医療機関の原子力災害対策」
- ②講義2「医療機関での初期対応」
- ③講義3「放射線障害の診断と治療」
- ④講義4「外部被ばくと内部被ばくの線量評価」
- ⑤講義5「原子力災害時のメンタルヘルス」
- ⑥講義6「放射線管理要員の役割」
- ⑦講義7「原子力災害事例」
- 特別講義

3. 2日目の実習について感想をご記入下さい。

- ①実習1「放射線測定器の取り扱い」
- ②実習6「傷病者の汚染検査」
- ③実習2「WBCによる計測」
- ④実習5「除染」
- ⑤机上演習

4. 3日目の実習について感想をご記入下さい。

- ①実習4「医療設備の養生」
- ②実習3「防護装備着脱」(デモを含めて)
- ③実習7「被ばく・汚染傷病者対応」

提出されたアンケートをご参照下さい

以下は、提出されたアンケートから抜粋しました

5. 3日間の研修全体を通しての感想をご記入下さい。

- ・多くのスタッフに支えられている研修だと思った。
- ・3日間とても充実し勉強になりました。今後も参加したいと思った。
- ・もっと学びたいこと（傷病者の対応も複数の時は　　）
- ・非常に充実した時間の中で理解を深めることが出来ました。
- ・前半の講義では質問する機会（時間）が無かったので、講義の最後の数分くらいにそのような時間があればいいかと思いました。
- ・とても良かった。
- ・全国からの研修者とともに被ばく医療の実習を経験する中で、新たな知識や経験が得られたとともに、非医療従事者としての自分の災害医療部での立ち回りを考える良い機会となった。
- ・純粹に研修そのものを楽しむことができ、机上演習などでディスカッションもでき、他の参加者の考えを知れたことは、これからの自分にとって大きな財産になると思う。
- ・最後に、今回の研修プログラムを組んだ高度被ばく医療支援センターの皆様、救急部の皆様、放射線部の皆様、看護部の皆様、他の皆様に心から御礼申し上げたい。
- ・難しい研修だったと思うが他職種の人との関りがあって、いろんな意見や経験を聞くことができ、良い研修になった。
- ・スタッフの皆さんがアットホームな雰囲気で大変楽しく実習ができました。
- ・駅までの送迎、大変に有難かったです。
- ・コロナか福島での経験をもっと語ってくれるとイメージがわきやすいのではないか。
- ・至れり尽くせりの講習でありありがとうございました。
- ・Dr. Ns. だけでなく事務の方々、関わってくださった全ての皆さんのチームワークがとても素晴らしかったです。
- ・講義、実習をスムーズに受けられるように準備・案内・後片付けまで手際良くて、とても学び深い研修になりました。ありがとうございました。